

調査目的と調査設計

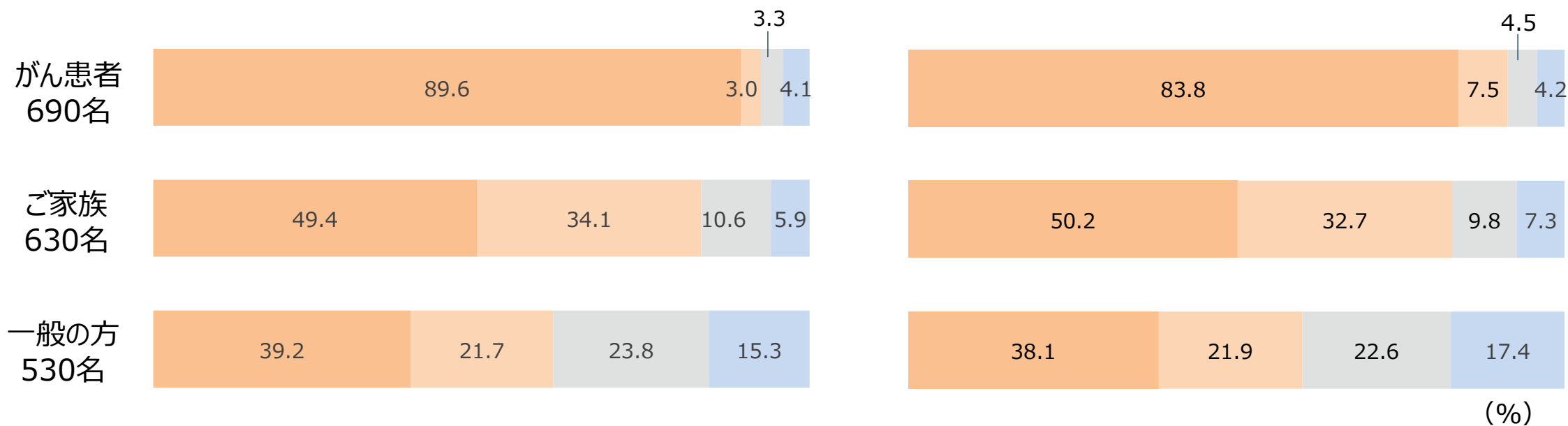
調査目的	患者さん/ご家族のPrecision medicine、CGPに対する認識を把握する		
手法	インターネット調査		
エリア	全国		
質問数	スクリーニング項目も含めて、全40問		
有効回収数	n=1,850		
セグメントごとの有効回収数	① がん患者:がんを診断された経験があり、治療や検査のために1年に1回以上医療機関に通院している ② 家族:家族や日頃コミュニケーションをとる近縁者に「1年に1回以上医療機関に通院しているがん患者」がいる ③ ①②以外の一般生活者。	n=690 n=630 n=530	※①患者、②家族セグメントでは、希少がんを一定数含む
調査期間	2022年11月25日～11月30日		
調査実施機関	株式会社インテージヘルスケア		

9割以上のがん患者がCT,MRI検査を受けた、知っていると回答した

Q あなたは、下記の検査や、下記の検査を用いた医療について、どの程度ご存じですか。

CT（コンピューター断層撮影）検査

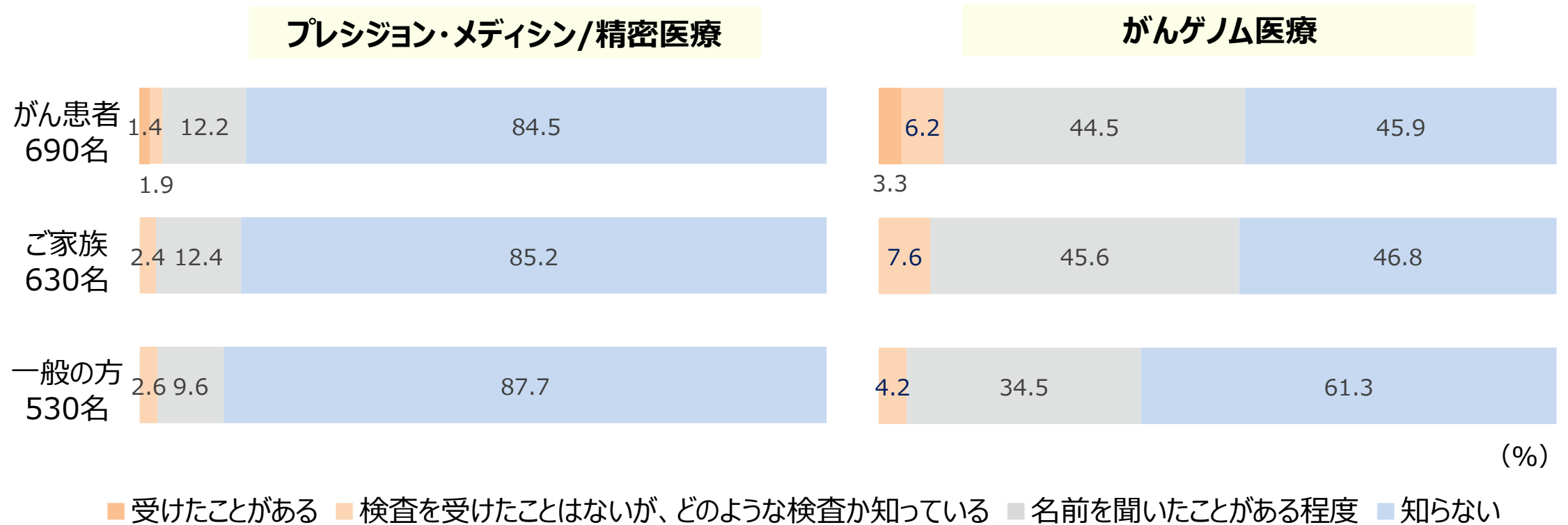
MRI（核磁気共鳴画像法）検査



■ 受けたことがある ■ 検査を受けたことはないが、どのような検査か知っている ■ 名前を聞いたことがある程度 ■ 知らない

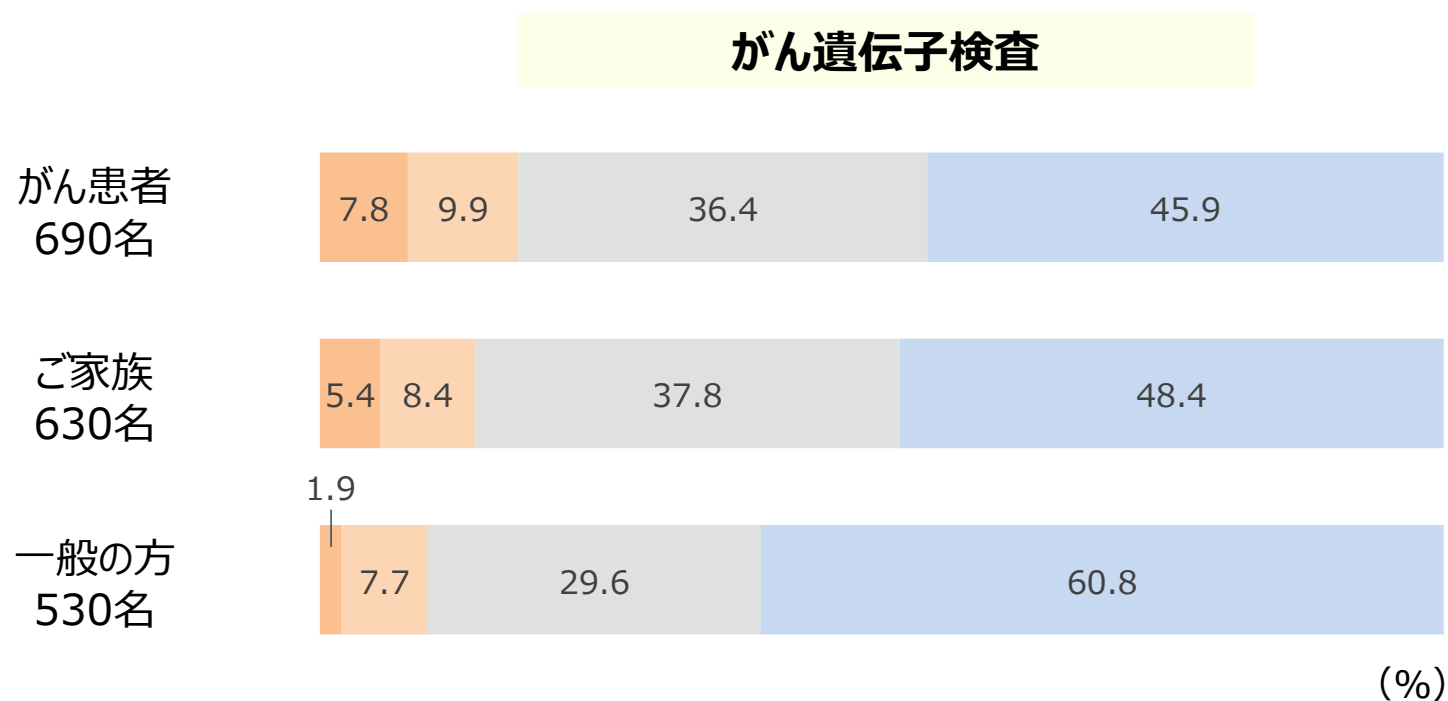
プレジジョン・メディシンやがんゲノム医療を受けたことがある、知っていると回答した人は10%未満であった

Q あなたは、下記の検査や、下記の検査を用いた医療について、どの程度ご存じですか。



がん遺伝子検査の内容を把握していた人は20%未満であった

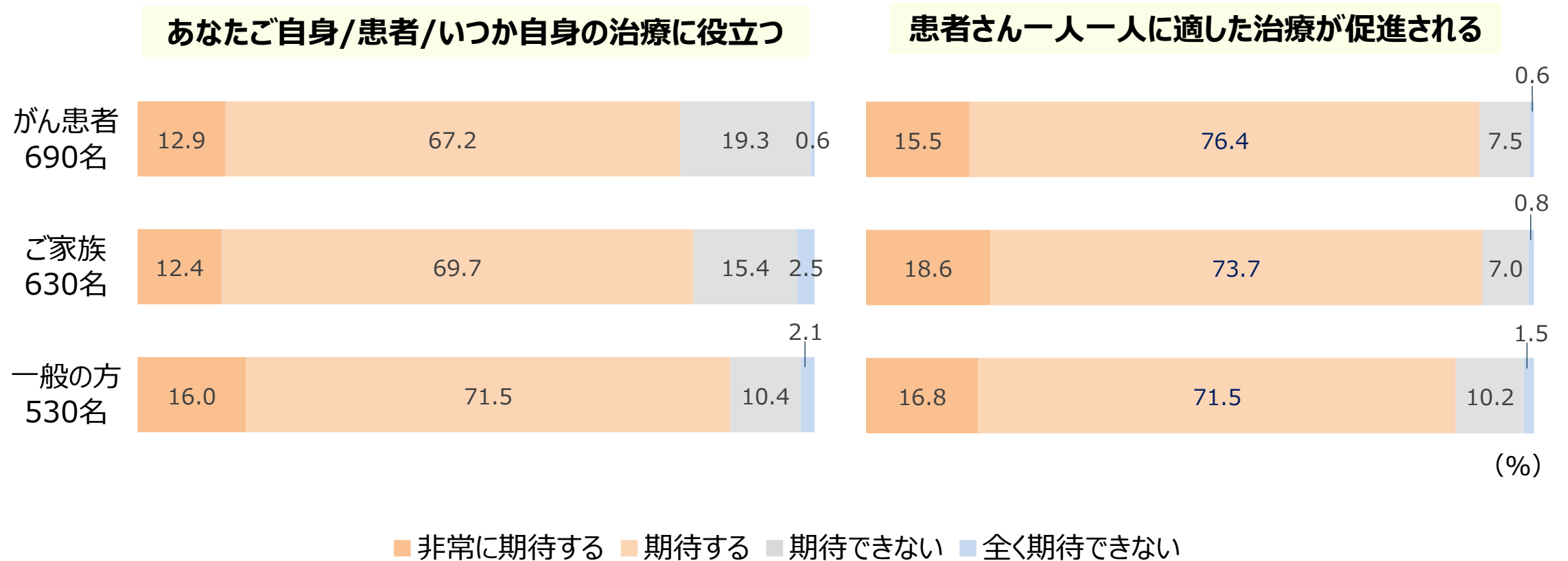
Q 「がん遺伝子検査」の内容について、どの程度知っていたか教えてください。



■ 詳細に内容を把握していた ■ ある程度の内容は把握をしていた ■ 見聞きしたことがある程度 ■ 初めて知った (これまでは知らなかった)

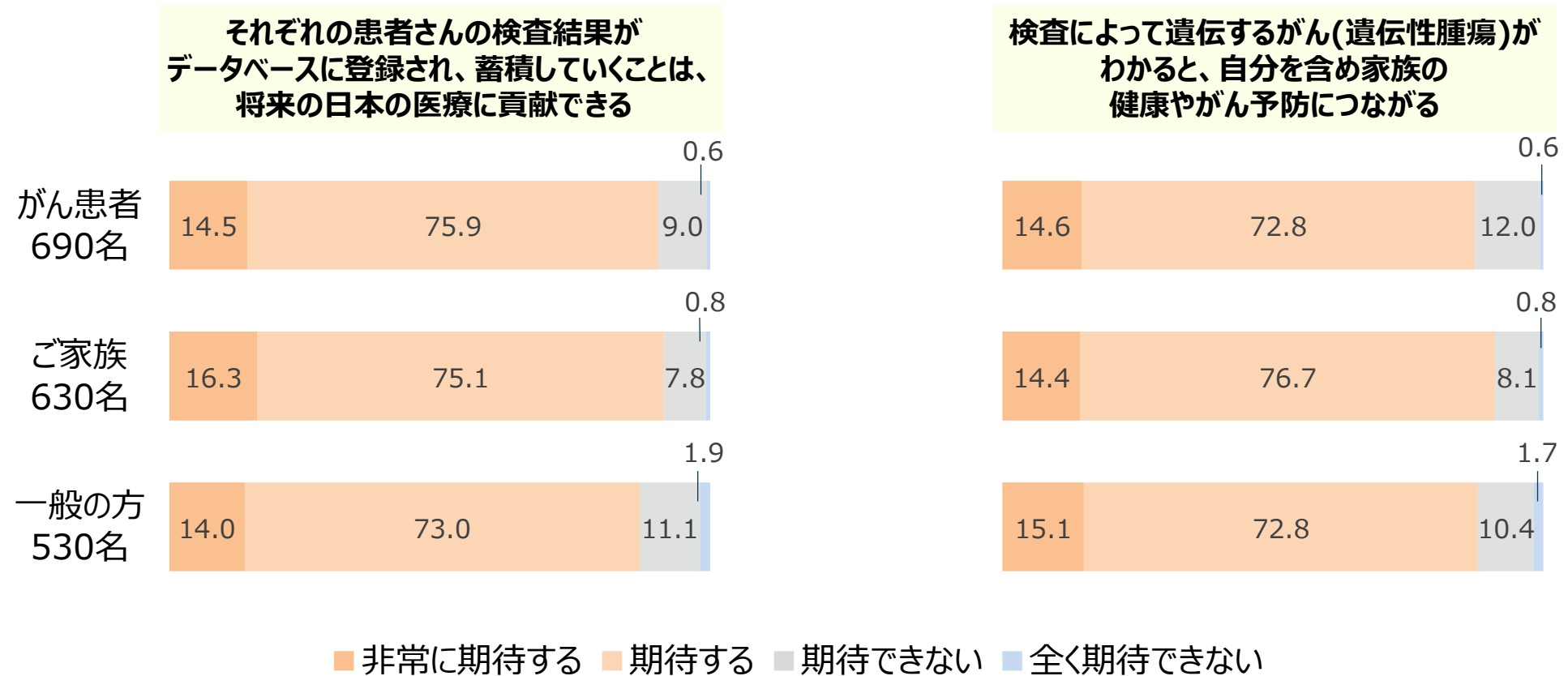
回答者の80%以上が、「がん遺伝子検査」について 治療に役立つ/一人一人に適した治療が促進されることを期待していた

Q あなたが、「がん遺伝子パネル検査」「CGP検査」に期待することはどのようなことですか。



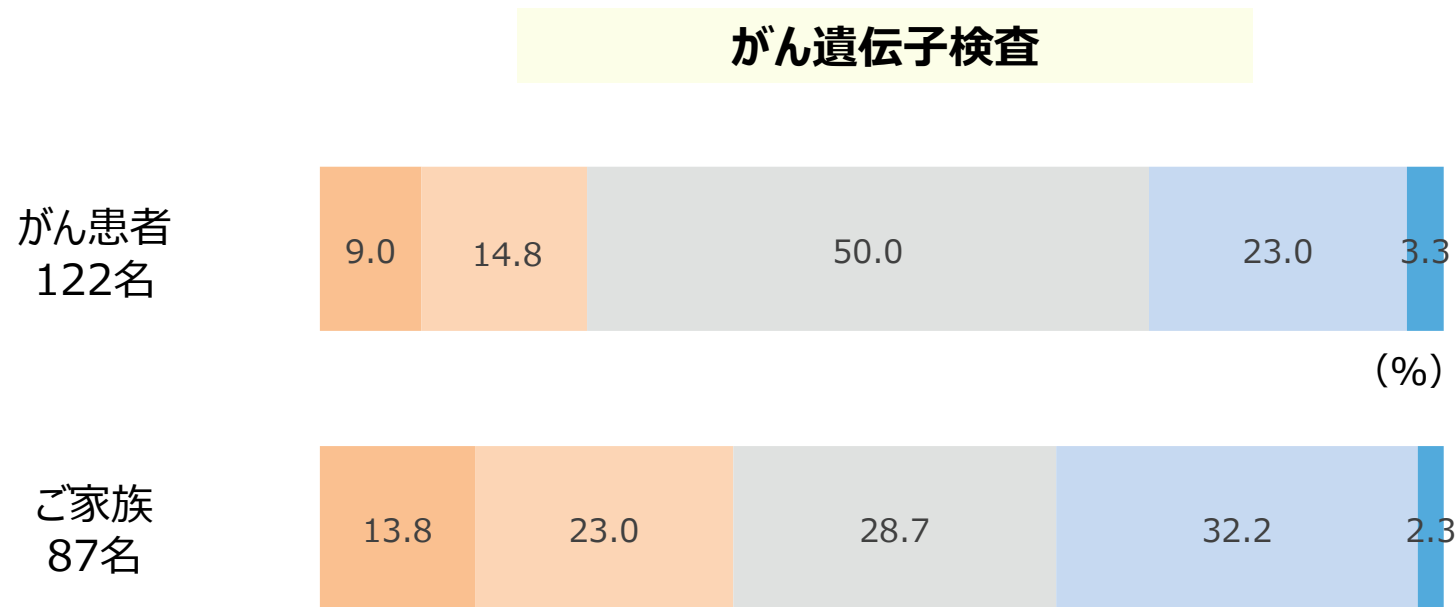
回答者の85%以上が、「がん遺伝子検査」について医療に貢献できる/健康やがん予防につながることを期待していた

Q あなたが、「がん遺伝子パネル検査」「CGP検査」に期待することはどのようなことですか。



がん遺伝子検査を受けたいと思い、実際に医師へ相談したことがあった人は15%未満であった

Q がん遺伝子検査について、「あなたご自身」に最もあてはまる状況を教えてください。



※「がんの遺伝子検査」の内容を把握している人ベース

- この検査を受けたいと思い医師へ相談したことがある
- この検査を受けたいと思ったが医師へ相談したことはない
- 医師の方からこの検査の説明をしてきた
- 覚えていない/わからない
- 答えたくない

これまでのがん治療で、納得のいく選択をできていない人が約半数であった

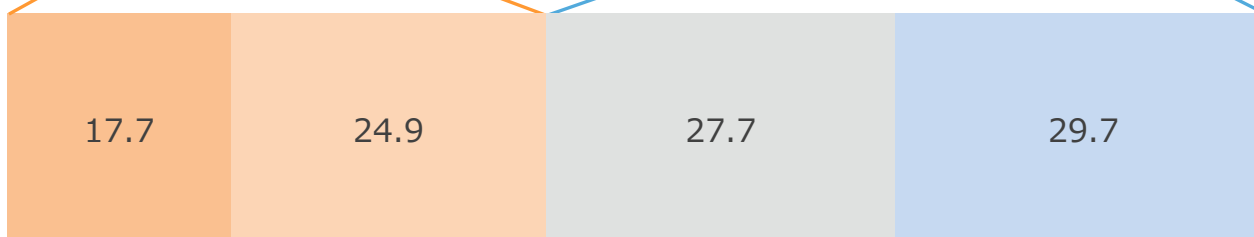
Q がん治療の方針を決める際の医師とのやりとりについてうかがいます。あなたのこれまでのがん治療における以下内容について、あなたの状況にあてはまるものをお知らせください。

納得いく治療 VS 任せており仕方ない

A わたしの趣味や生活様式、避けたい治療や副作用等は医師あるいは他の医療従事者へ伝えており、その結果、納得のいく選択ができていると思う

B 治療に関しては、専門家である医師や他の医療従事者に任せており、その内容や副作用等についても「がん」の治療ということで仕方がないと思っている

がん患者
690名



←A

納得いく治療

(%)

B→

任せており仕方ない